

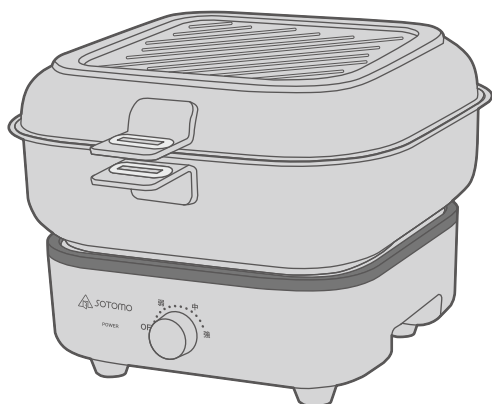
取扱説明書

STACKING COOKER

スタッキングクッカー

品番

ASC-700



- この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ごぞいます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られる
ようにしてください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3
ご使用方法	4-6
お手入れ・収納方法	6-7
故障かな?と思ったら	8
製品仕様	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

※イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書が
ついています。必ず捺印をお受けください。


この製品は日本国内でのみご使用になれます。


This appliance is designed for domestic use in Japan only
and can not be used in any other country.



安全上のご注意

必ずお守りください!

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

本製品は調理を目的として一般家庭用に生産された製品です。
これ以外の用途では使用しないでください。

警告

- 本製品は修理、分解、改造を絶対に行わないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、けがをする恐れがあります。
- 電源コードが破損した場合、ご自分で修理しないで必ず弊社アフターサービスへ修理を依頼してください。
発火や感電・けがをする恐れがあります。
- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上など高所で使用しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 小さなお子様や身体の不自由な方など補助を必要とする方だけの使用や、幼児の手の届くところでの使用はしないでください。また、お子様が本製品で遊ばないよう必ず保護者の方が注意するようにしてください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。温室・浴室など、高温多湿で水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
漏電して感電・ショートなどの原因になります。
- 付属の電源コード以外を使わないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使わないでください。
火災・事故・故障の原因になります。
- 鍋やフライパンを濡れたまま本体にセットしないでください。
漏電して感電・ショートなどの原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶10ページ参照
- 電源プラグは確実にコンセントの根元まで差し込んでください。
感電・ショート・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり重いものを載せたり、たばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 器具用プラグをなめないでください。また、器具用プラグの先端に金属片やごみを付着させないでください。
感電・やけど・ショート・火災の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電・火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。



禁止



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、濡れた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・けがの原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください!

注意

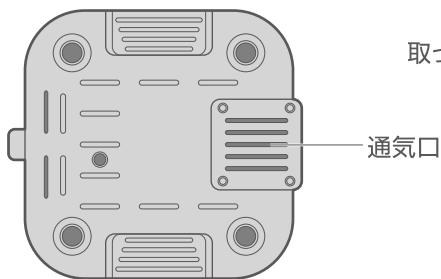
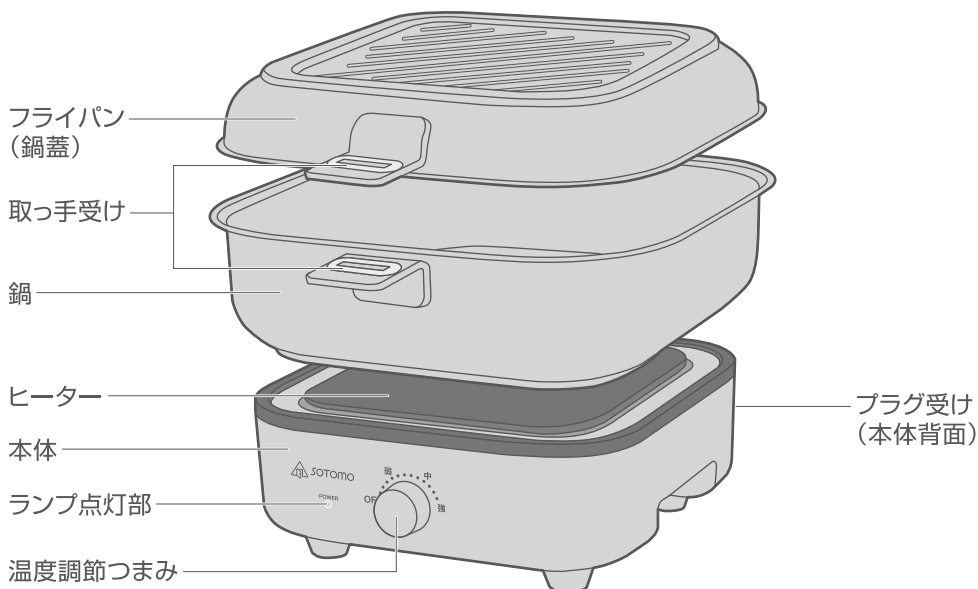
- 右記のような場所では使用しないでください。
火災・感電・故障・変色の原因になります。
たみ、じゅうたんなどの上・高い場所
熱に弱い敷物や紙の上・不安定な場所
カーテンなどの近く・傾いた場所
火気のそば
- 壁や家具の近くで使用しないでください。
蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色・変形の原因になります。また故障・火災の原因になります。
- 温度調節つまみが「OFF」の位置にあることを確認してから電源プラグを抜き差ししてください。
けが・故障の原因になります。
- 調理目的以外の使い方をしないでください。
故障・事故の原因になります。
- 使用中は本体から離れないでください。
調理物が発火する恐れがあります。
- 缶詰や瓶詰を直接加熱しないでください。
缶や瓶が破裂してたり過熱して、やけど・けがををする恐れがあります。
- 鍋やフライパンが本体にセットされていない状態では絶対に使用しないでください。
やけど・火災の原因になります。
- 本体底部の通気口に物を入れたり、ふさいだりしないでください。
感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ヒーターの上に本製品の鍋やフライパン以外の物は置かないでください。
火災・感電・故障・けがの原因になります。
- フライパンを鍋蓋として使用する場合、開けるときは蒸気に注意してください。
やけどの恐れがあります。
- 鍋に蓋をして、水やだし汁を沸かすときは、吹きこぼれに十分注意してください。
感電・ショート・火災・やけど・故障の恐れがあります。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
変形したり、故障・けがの原因になります。
- 使用中や使用後しばらくは本体、鍋、フライパンは高温になりますので取り扱いには十分注意してください。
特に本体ヒーター付近は非常に高温になりますので絶対に触れないでください。
やけどの恐れがあります。
- 本体や熱い状態の鍋やフライパンをビニールクロスや熱に弱いテーブル、プラスチックの上や側に置かないでください。
跡が残ったり、変色・変形の原因になります。
- 本体を直接ガスコンロにかけないでください。
本体が燃えたり、故障の原因になります。
- 長時間の空焚きはしないでください。
変形したり、表面コーティングがはがれる原因になります。
- フライパンを鍋蓋として使用する場合以外、鍋やフライパンを重ねて使用しないでください。
故障・けがの原因になります。
- 金属製のヘラや串、ナイフなどは使用しないでください。
表面のコーティングが傷つき、腐食の原因になります。
- 調理物や水気を残したままで、鍋やフライパンを放置しないでください。
素地が腐食し、表面コーティングがはがれる恐れがあります。
- お手入れは十分冷めてからおこなってください。
高温部にさわるとやけどの恐れがあります。
- 鍋やフライパンが熱いうちに水などを入れ、急冷しないでください
ヒートショックによりコーティングを傷める原因になります。
- 本製品は外付けタイマー類による使用、及びIoTなどによる遠隔操作を想定して作られていません。
誤作動・故障・事故の原因になります。



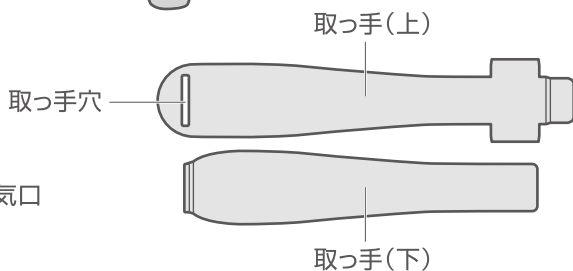
プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

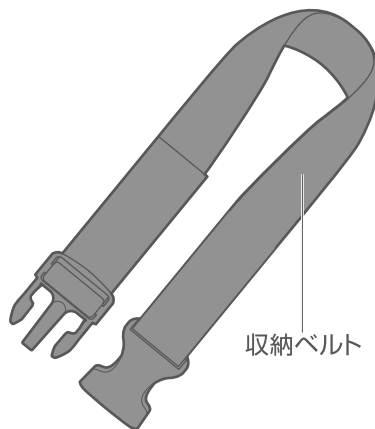
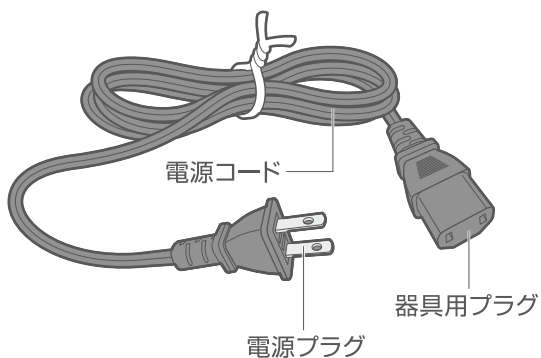
各部のなまえ



【本体底部】



付属品

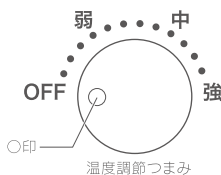


ご使用方法

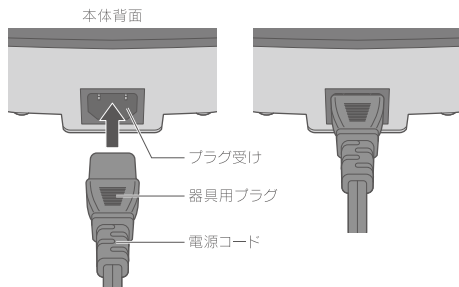
はじめてご使用になる前に、鍋やフライパンを台所用中性洗剤でよく洗ってください。
また、必ず完全に乾燥してからお使いください。

1. 電源コードを接続する

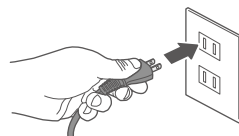
① 本体の温度調節つまみの「○」印が「OFF」の位置になっていることを確認してください。



② 器具用プラグを本体背面のプラグ受けの形に合うようにしっかり差し込みます。



③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 鍋またはフライパンをセットする

ヒーターと鍋底(またはフライパン底)の凹部の位置を合わせてのせる。

・鍋

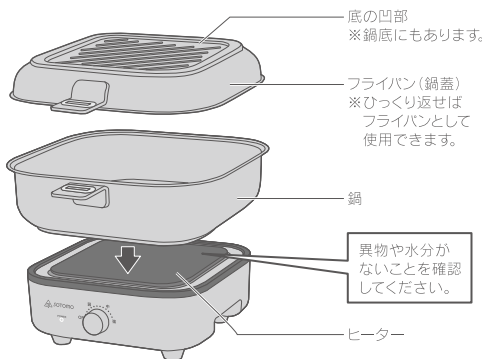
炊飯(2合まで)または、鍋物、シチューなど汁気の多い料理など
※フライパンは鍋蓋として使用できます。

・フライパン(鍋蓋)

ステーキや炒め物など

① 鍋/フライパンとヒーターとの間に、異物や水分がないことを確認してください。

② 鍋/フライパンをセットした後、傾きやガタツキがないことを確認してください。



3. 予熱する

温度つまみを「弱」に合わせて予熱を開始する。

温度調節つまみを弱に合わせると、ランプ点灯部が点灯します。
気温などによって異なりますが30秒～1分程度で予熱できます。

▲ 注意

・はじめてご使用になる時は、煙やにおいが出ることがありますが故障ではありません。
においは数回使用すると、次第に消えていきます。

・予熱は必ず「弱」でおこなってください。

温度調節が強すぎたり、長時間空焚きの状態にすると鍋やフライパンが変形したり歪みの原因になります。

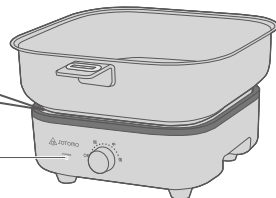
・ご使用中はランプがついたり消えたりしますが、故障ではありません。サーモスタットの温度調節機能による現象です。

・ご使用中に聞こえる「カチツ」というきしみ音はヒーターの熱膨張によるもので故障ではありません。

・鍋蓋をして予熱をおこなわないでください。

ヒーター付近は非常に高温になりますので、絶対に触れないでください。

ランプ点灯部



ご使用方法(つづき)

4. 調理する

- ①必要に応じて油を引き、具材を入れて調理します。
- ②温度調節つまみを操作してお好みの温度に合わせます。
- ③必要に応じて鍋蓋を使用してください。
- ④木べらや箸などを使って食材をひっくり返したり、混ぜたりしてください。

●温度調節の目安

温度調節「弱」→鍋底表面温度「約100℃」

温度調節「中」→鍋底表面温度「約170℃」

温度調節「強」→鍋底表面温度「約250℃」

- 上記温度は蓋をせず、食材を入れない時の鍋底の表面温度の目安です。
- 鍋物をするときには、鍋蓋をして水やだし汁(スープ)を沸騰させてから食材を入れて調理してください。
- 食材の中までしっかり調理したい時は鍋蓋をして調理することをおすすめします。
- 鍋の内側に表記されている目盛りのMax以上に具材や水を入れて調理しないでください。

本製品の鍋・フライパンはコンロ(直火)でも使うことができます。
直火での調理の際は**火加減が調節できるもので「中火」以下で調理してください。**
強火など高温で加熱すると変形・コーティングが剥がれる恐れがあります。



▲注意

- ・金属製のへらや串、ナイフなど鋭利な器具は使用しないでください。
- ・使用中または使用後しばらくは本体、鍋/フライパンは高温になっております。やけどをする恐れがありますので、触らないように注意してください。

取っ手の取り付け方法

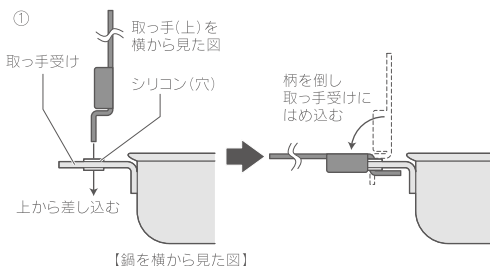
専用の鍋やフライパン(鍋蓋)を移動させたり、フライパンを鍋蓋として使用する場合は付属の取っ手をご使用になれます。



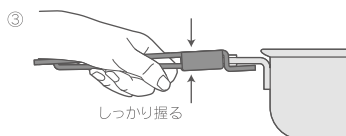
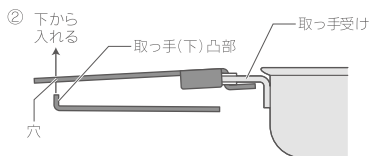
- ①取っ手(上)の先を鍋やフライパンの取っ手受けの穴に上から差し込み、図のようにはめ込みます。
- ②取っ手(下)の凸部を取っ手(上)の穴に下から入れて取っ手受けを挟むようにしっかりと握ります。
- ③しっかりと握ったまま鍋やフライパンを静かに移動させてください。

※取っ手を取り外す際は取り付けの逆の手順でおこなってください。

※取っ手は必ず上下共に使用してください。



【鍋を横から見た図】



▲注意

- ・鍋の中にたくさん具材やスープが入っている場合は大変重たくなりますので、取っ手だけでなくミトンなどを使い鍋を支えて移動させてください。
- ・使用中、鍋やフライパンに取っ手をつけたままにしておくと、高温になります。取っ手を握る際は必ずミトンなどを使用してください。
- ・使用中の取っ手(上)の取り付け・取り外しは危険ですのでおやめください。

ご使用方法(つづき)

5. 調理後

- ①温度調節つまみを「OFF」の位置に戻します。
- ②鍋やフライパンを少し冷まして、温かいうちに焼けこげや調味料などをやわらかいキッチンペーパーなどで拭き取ります。
- ③電源プラグと器具用プラグを取り外します。
- ④鍋やフライパンが十分に冷めてからお手入れをおこなってください。

▲ 注意

- ・やけどに注意してください。

キッチンペーパーなどで拭き取る。



お手入れ・収納方法

1. 本体のお手入れ

- ・軽い汚れは水を含ませた布で拭きとってください。
- ・油污れは薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・洗剤を使った後は、固く絞った布で拭いてください。
- ・最後に乾いた柔らかい布で水分を拭きとってください。
- ・本体のすき間に入りこんだ食材などは、ブラシなどで取り除いてください。
- ※本体の水洗いはしないでください。感電または故障の原因になります。

▲ 注意

- ・必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜き、器具用プラグを本体から取り外してください。
- ・お手入れは本体が十分冷えてからおこなってください。
- ・磨き粉やたわし・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。



2. 鍋/フライパン/取っ手のお手入れ

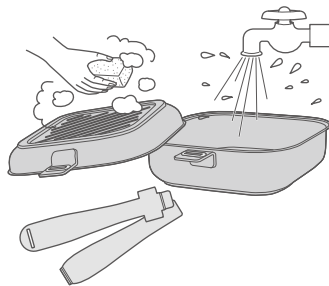
鍋/フライパン/取っ手は丸洗いができます。中性洗剤を使いスポンジで洗った後水洗いし乾いた布で水分を拭き取ってください。

- 汚れのこびりつきがひどいとき・冷めて汚れが取れにくくなってしまった時

- ①ぬるま湯に少しつけてから、台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗ってください。
- ②水洗いした後、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

▲ 注意

- ・調理物の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。
- ・お手入れは鍋/フライパン/取っ手が十分冷えてからおこなってください。
- ・磨き粉やたわし・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
- ・鍋/フライパン/取っ手の表面を金属製のへらやフォーク、ナイフなどのかたいものでこすらないでください。
- ・食器洗い機、食器乾燥機は使用しないでください。



お手入れ・収納方法(つづき)

3. 電源コードのお手入れ

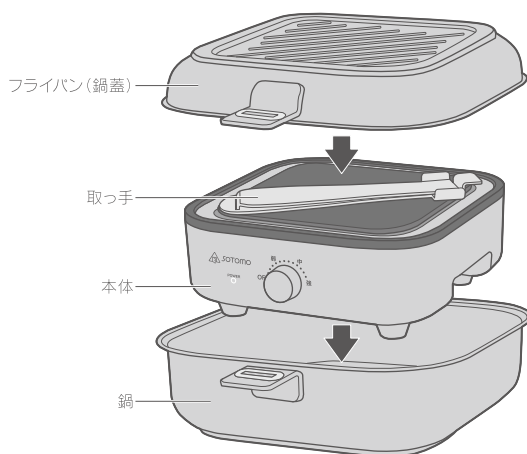
乾いた布やキッチンペーパーなどで汚れを拭きとってください。
電源コードをお手入れする際は絶対に水で洗わないでください。

▲ 注意

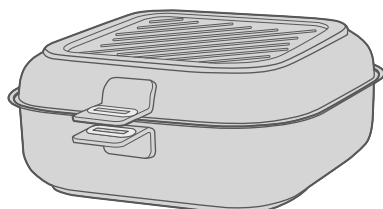
- ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・みかき粉やたわし、シンナー、ベンジン、アルコール、アルカリ洗剤などは使用しないでください。

4. 収納方法

鍋の中に本体、取っ手の順に入れ
フライパン(鍋蓋)で蓋をして
付属の収納ベルトで固定してください。
長期間使用しない場合は
梱包箱に入れて保管してください。

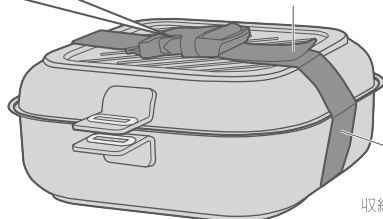
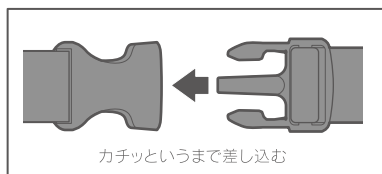


コンパクトに
収納できます



収納ベルトで
巻いて留めて固定

ベルトの端を引っ張って
しっかりと絞ってください。



故障かな？と思ったら...

「故障かな？」と思ったときは、次の内容をお調べください。

状態	点検	処 理
鍋・フライパンの 温度が上がらない	器具用プラグ、電源プラグが 正しく接続されていますか？	器具用プラグを本体のプラグ受けに 電源プラグをコンセントに確実に 差し込んでください。
	ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを上げ、定格15A以上のコンセントを 単独で使用してください。 ※タコ足配線はしないでください
	温度調節つまみが「OFF」になっ ていませんか？	料理に応じて温度調節つまみを回し 適した温度に調節してご使用ください。
	鍋・フライパンが傾いたりして いませんか？	鍋・フライパンを確実にセットしてください。
	鍋・フライパンの裏面やヒーターに 異物が付着していませんか？	鍋・フライパン・本体を十分に冷ましてから 異物を取り除いてください。
	鍋・フライパンが 変形していませんか？	熱や衝撃などで鍋・フライパンが変形すると ヒーターとの接触が悪くなり、温度が上がり にくくなる場合があります。 買い替えをおすすめします。 (P10 インターネット販売参照)
ランプがついたり 消えたりする	サーモスタットが作動して 温度調節しています。	故障ではありませんので そのままお使いください。
調理物が焼けにくい	サーモスタットが作動して 温度調節しています。	故障ではありませんので そのままお使いください。
調理物がひどく 焦げる	鍋・フライパンの表面を十分に お手入れしていますか？ 残りものを放置していませんか？	鍋・フライパンのお手入れをしてください。
	鍋・フライパンの表面コーティング がはがれていませんか？	コーティングがはがれると 焦げ付きの原因になります。 気になる場合は買い替えをおすすめします。 (P10 インターネット販売参照) ※表面コーティングがはがれても人体には無害です。
煙が出たり においがする	鍋・フライパンの裏面やヒーター に異物が付着していませんか？	異物を取り除いてください。 ※初めてご使用になる時は煙やにおいが 出ることがありますが、故障ではありません。 ご使用にともない出なくなります。
使用中に「カチッ」と キシミ音がる	ヒーターの熱による膨張や収縮に よるものです。	故障ではありませんので そのままお使いください。

- 修理を依頼される際は、上記内容をご確認していただいてからご連絡ください。
- 上記内容を試されたうえで直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は、アフターサービス（10ページ参照）までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

製品仕様

品番	ASC-700	質量	(約) 1.4kg ※本体、鍋、フライパン(鍋蓋)、取っ手、電源コード、収納ベルト
品名	スタッキングクッカー	コード長さ	(約) 1.5m
電源	AC100V 50/60Hz	材質	本体:ポリプロピレン、PPS、PET 鍋・フライパン:アルミメッキプレート 耐高温塗装(外側)、セラミック塗装(内側) シリコン 取っ手:ステンレス 収納ベルト:ポリプロピレン、ポリエステル
消費電力	800W		
温度ヒューズ	240℃		
外形寸法	(約) W200×D230×H155(mm) ※本体、鍋、フライパン(鍋蓋)を被せた場合 取っ手、電源コードを除く	付属品	収納ベルト

- 製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となりますので、ご了承ください。

MEMO

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合に、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- * 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社に連絡ください。
保証書の記載内容により無料修理致します。
- * 保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- * 保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- * この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- * 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- * 保証期間はお買い上げから1年間です。

修理・部品購入のお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買い上げ日
- 故障の状況
(できるだけ具体的に)



2次元コード



※品番は表紙、保証書に記載あります。

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関する
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売

www.apix-direct.jp

営業時間：(平日) 月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く
午前10:00～11:30 午後1:00～5:00

※混雑時には繋がりにくい場合があります。
繋がらない場合は下記番号におかけください。
予備回線: TEL.0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。